

『サキグロの卵囊確認』

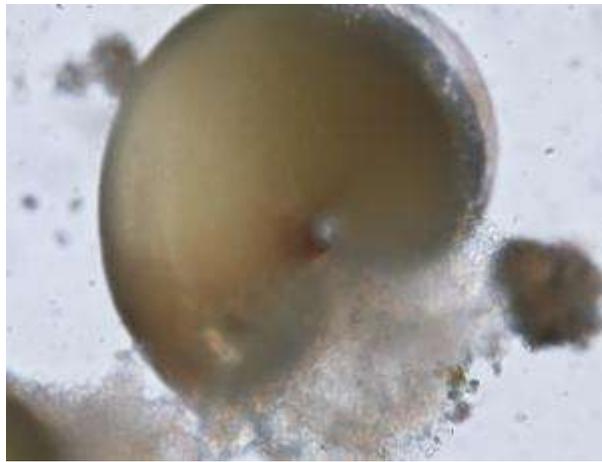
水産技術総合センター
仙台地方振興事務所水産漁港部

本日（10月19日）松島湾の桂島および福浦島でサキグロタマツメタの調査を実施したところ、桂島では卵囊は確認されませんでした。が、福浦島では卵囊が確認されました。

卵囊内を観察した結果、初期～中期ベリジャー幼生（写真参照）が確認されました。中期ベリジャー幼生は1週間程度で孵出します。

干潟が残存している場所では同様にサキグロタマツメタが生存している可能性がありますので、調査をし、駆除に努めてください。

なお、本調査ではアサリの稚貝も多く見られており、これらのアサリを保護し、資源を回復するためにも卵囊の駆除が必要です。



中期ベリジャー幼生

●サキグロタマツメタ卵囊の観察結果

発見個数
(個／人・15分)

発生状態

桂島

0

—

福浦島

14

初期～中期ベリジャー幼生